

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズボンド地蔵		公表日		2026年 2月 20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・学習室、支援室の広さは十分にある。 ・支援室のマットやハンモックの使用方法を工夫したり、ボール遊びの約束事を強化したりしている。静の遊び場所の配置を工夫している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		・こども2名に対し約1名の職員の配置になっている。 ・急な変更に対応できる配置はできている。	・個別支援が重なる時間帯で、より細やかな対応ができる環境を整えたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		・現状車いすでの利用はないが、階段をあがっての学習室である為、バリアフリーでない場所もある。玄関、支援室はバリアフリーである。 ・安全第一に配置の変更、撤去を行っている。	・初めてのこどもや見通しを持ちにくいこどもにとっても、より分かりやすい環境となるよう、掲示物や室内の工夫をさらに深めていきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・毎日の清掃、ハンモックや絨毯等定期的に洗濯。 ・机や椅子の老朽化が気になる。 ・こどもの特性や活動に合わせ、安全に使用できる空間にしている。 ・安全計画に沿っている。	・毎日の清掃、ハンモックや絨毯等定期的な洗濯は継続していく。 ・こどもと協力しての片付けなど、今以上に確立していく。 ・机や椅子は安全に使用する為、交換、購入を検討。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・クールダウンが必要な児童は、職員が付き添って学習室や職員室を使用し居場所の確保を行っている。	・状況に合わせて、柔軟に対応できるバーテーションがあるとよいかもしれない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		・受入前ミーティングや職員会議にて、職員全体で業務を共有している。 ・児童が帰った後、職員同士で当日にあった児童の様子・支援等、共有している。	・受け入れ前MT同様、短時間で参加しやすいミニMTなど実施してもよいかもしれない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・年1回の評価表を配布し把握している。 ・送迎時、相談支援時、モニタリング時等や日々のラインや電話でご意見をお聞きし、柔軟に対応している。	・送迎時に把握した意向等についても、より正確に受け止められるようにしたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・普段からコミュニケーションをとっている。 ・毎日ミーティング、毎月の職員会で誰でも発言できる機会を設けている。 ・個人的に話を聞く時間を取り、職員の意見を聞き取り入れている。	・簡易メモや短時間の意見交換の場を取り入れるなど、これまで以上に、意見をまとめて改善につなげる仕組みづくりをしていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5	・第三者による外部評価は行ってない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・定期的に社員研修があり、必要に応じて外部研修を受けている。	・職員同士でも事例の共有を行ない、学びの機会を増やしていきたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		・支援プログラムを作成しHPに公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		・保護者と半年に1回モニタリングを行い、その中でニーズ等の確認をしている。 ・複数の職員がアセスメントを行う事で、いろいろな観点から適切な計画をたてている。	・アセスメントの質向上に向け、記録方法や情報共有の工夫を進めたい。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・ASISTなどは複数の職で行う。ASISTの結果に基づき意見交換している。	・アセスメント内容の事前共有や短時間打合せの機会を増やし、十分に検討できる体制づくりを図りたい。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・ファイルに日頃の個人記録とセットにし、いつでも職員が確認できるようにしている。 ・資料や計画がノート職員にも目にしやすいよう工夫されている。	・今後も職員会などを活用し個々の児童の支援について共通理解をしていきたい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15		・ASISTやVineland-IIを使用している。 ・日々の行動観察は、個別支援記録において毎日記録している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		・個々の児童の状況、利用日数等、必要な項目を網羅された計画書になっている。 ・具体的な支援内容も記載されている。 ・個々の現状にも配慮し、実現可能な範囲をスーパーバイズにより探って必要な支援を設定する工夫をしている。	・職員間で確認項目を統一し、児童ごとの支援内容をより具体的に設定できるよう取り組みたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・原案を担当職員が作成し、職員間で話し合って決定している。複数の職員でチェックしている。	・職員間でのアイデア共有や、短時間ミーティングをさらに充実させていきたい。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		・毎回イベントが違うため、こども達も楽しく活動できている。 ・運動、手先、認知、食育、お出かけ等、出来るだけ前月と重ならないようにし、担当を変えたり児童の意見も取り入れている。	・季節行事や児童の興味を取り入れ定期的に検討し、プログラムの幅を広げていきたい。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		・こどもの特性に応じ、個別の課題と集団を組み合わせた計画を作成、実施している。	・児童の当日の状態や興味を共有する仕組みを整え、計画への反映をさらに丁寧に行なえるようにしたい。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		・毎日、受入前ミーティングを行い連携して支援を行っているが、開始前ミーティングができない時があった。	・事前チェックリストにより、支援内容の確認も一層確立させていけたら良いかもしれない。 ・開始前ミーティングを行うよう努めたい。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		・気になった児童について話し合っている。 ・記録の記入を行いながら、それぞれの児童について1日の中での支援について話している。	・気づきの要点を簡潔に整理できる仕組みを整え、より継続的に支援改善へ生かせる体制づくりを進めたい。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		・毎日、記録をしている。 ・毎日の支援記録行事記録により支援内容の改善点を探っている。	・記録内容の整理方法を工夫し、検証結果をより計画的な支援改善につなげていきたい。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		・保護者様と定期的なモニタリングを行い、学校やこども園、ご家族の様子など伺いながらニーズ、課題の把握を行っている。	・得られた気づきを職員間でより共有しやすく整理し、計画の見直しに一層反映しやすい仕組みづくりを進めたい。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		・児発管が中心に参加している。	・情報共有や打ち合わせの強化により、他の職員も多角的な視点で状況を伝えていきたい。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		・事業所での様子を保護者様を通して伝えられている。	・情報整理の方法を工夫し、必要な支援内容がより確実に共有されるようにしていきたい。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		・関係機関と連携を取りインクルージョンを推進している。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		・就学前には、進学先を訪問し情報共有をしている。		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	4	・児童発達支援センターと連携を取ったことはない。	・児童発達支援センターとの連携は不十分だと感じている。今後は改善し連携していく。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	6	・公園などに出かけた際、地域のこどもと遊んだり話をしたりするなど関わりが持てる時もある。	・児童の興味や特性に合わせて、地域での活動先の選択肢を広げられるようにしたい。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		・連絡帳でその日の様子をお伝えしたり、送迎時、LINE、モニタリング時に家庭での様子など状況を伝えあい、共有している。	・児童の変化をより丁寧に取得出来るよう、情報交換の機会や方法を充実させたい。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	6	・ご家族の参加できる研修の機会がない。	・保護者が必要な情報にアクセスしやすいよう、身近で実践的支援情報を日常的に共有できる工夫を進めていきたい。	
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	・契約時に口頭で説明している。 ・いつでも閲覧できるように入口にファイリングしている。	
		36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		・こどもからの意見を取り入れたり、モニタリングの機会に家族の意向を反映させたりして、計画書を作成している。	・意向確認の機会をさらに工夫し、より丁寧に反映できる体制づくりを進めていきたい。
		37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		・完成した計画案を提示したり必要に応じて質問に答えたりして、丁寧に説明後、同意を得ている。	・保護者がより理解しやすい掲示方法や振り返りの機会を工夫し、同意形成をより丁寧に進めていきたい。
		38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・モニタリングの時や送迎時、LINEでの相談にも応じている。 ・書面でのやり取り(学校・病院)や心理士との面談の機会を設けている。	・保護者がより相談しやすい場や情報共有の方法を増やし、より安心して悩みを話せる環境づくりを進めていきたい。
		39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	8	・保護者会やきょうだい同士で交流する機会はまだ開催できていない。	・KBグループの他教室の保護者会の開催内容などを参考に開催していきたい。 ・リトミックに親子参加を予定している。
		40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・支援に直接かわる情報は迅速に周知対応するようにしている。	・記録様式の整備や周知方法の見直しを進めることで保護者がより安心して意見を伝えられる体制づくりをすすめていきたい。
		41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		・毎月、キッズbond通信と活動予定表をご家庭にお渡ししている。 ・毎日、FacebookやInstagramで発信している。	・保護者が必要な情報をより見つけやすく整理し、伝わりやすい形で発信する工夫を進めていきたい。

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> 個人ファイルなど書類は鍵付きの書庫で管理している。 PC内のデータは抜き出しできないように設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間の確認体制をさらに見直し、より安全性の高い管理体制を整えていきたい。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> 絵カードやジェスチャーを使用して情報伝達をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの特性にあったより多様な伝え方の工夫を進めていきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民を招待するイベントは行っていない。 地域のイベントに招待され、参加した事はあ 	<ul style="list-style-type: none"> できる範囲で地域への情報発信など開かれた運営を勧めたい。 地域との交流の場をもう少し具体的にするとよい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルを策定し、毎月、避難訓練を行っている。 1つのファイルにまとめ、いつでも見ていただけるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各マニュアルの内容をより実践に即したものに更新し、職員全体で共有する研修機会を増やしていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> BCPは策定している。 毎月1回、避難訓練を行い必要な研修や訓練も行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルの要点を現場で確認しやすい形に整理し迅速な行動につなげていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> インテーク時にフェイスシートで確認し、情報収集を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の変化も把握できるよう、職員間で共有方法をさらに整備していきたい。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示書を保護者を通していただき、対応している。 職員全員がわかるように掲示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な確認と交信の流れをより整備し、周知方法の見直しに取り組んでいきたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> 安全計画は作成済み。必要な研修や訓練も行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員への周知や定期的な訓練などしっかりと行っていきたい。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> 毎月の通信やSNSで周知共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者がより理解しやすい形をつたわらよう、周知方法の工夫を今後検討していきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットが上がった時は受け入れ前ミーティングや職員会議を開き、再発防止案を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> 検討内容をより体系的に残せる仕組みづくりについて今後検討していきたい。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止の研修や委員会を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の支援現場で気づきを共有機会をさらに増やし、職員全体で理解を深めたい。 	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束適正化委員会を設置し、必要な研修や訓練を行い、重要事項説明書に明記して同意書をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で具体的な判断基準の共有をより丁寧に、保護者への説明方法も分かりやすく工夫していきたい。 	